

調査事項① | 坂祝町の農業の現状について

調査内容

町内の農業法人等の農業現場を視察し坂祝町の農業の現状について調査を行った。

① シーキューブ株式会社 [さかほぎ農場]

情報通信設備や通信ネットワーク構築を行うシーキューブ株式会社がICT技術を活用し、2018年からさかほぎ農場（黒岩地区）において高糖度ミニトマトを生産・販売している。また、今年度、酒倉地区に新農場（約9,000㎡）を建設し事業を拡大する予定。

② 白田牧舎株式会社・加茂農産株式会社 [乳牛牧舎等]

大針地内において乳用牛（経産牛69頭、初妊牛5頭）、肉用牛（繁殖雌牛20頭、子牛・育成牛47頭）〈※令和4年2月1日現在〉を飼育している。また、町内農地（約18ha）を借り受け、牧草（イタリアンライグラス）を栽培しており、良質な自給飼料の確保、資源循環型農業の実施、地域の農地の保全に取り組んでいる。

③ オグリ [花卉(かき)農園]

大針地内ハウスにおいて主にセントポーリアなど約160～170種類の花の鉢植を生産している。生産者の小栗慎太郎さんは農業の高度な技術や経営能力を持ち、地域活動などにも積極的に参画する「岐阜県青年農業士」に認定され、若い担い手の育成にも取り組んでいる。

意見・要望

- ①-1 さかほぎ農場で生産するミニトマトを学校給食に提供することや園児・児童・生徒の収穫体験等を行うなど学校教材としての活用を検討されたい。
- ①-2 高糖度のミニトマト「アイコ」にはさかほぎ産と明記され、坂祝町のPRもなされている。同商品に高い付加価値をつけてブランド力を高めるスキルを行政も学び、今後は協力・連携しながら坂祝町の特産品の開発や「さかほぎ」というブランドを高める企画を立案していただきたい。
- ①-3 自社の強みであるICT技術を農業の効率化などに活用する研究が進められているとのことだが、行政も研究の成果を吸収し町内の農業にフィードバックできるよう努められたい。



▲シーキューブ株式会社 さかほぎ(トマト)農場を視察

②-1 海外から輸入する飼料が著しく高騰して経営が厳しい現状であることから、物価上昇分を補てんする国・県の補助金などを積極的に活用して支援につなげていただきたい。

②-2 牧草用耕作地の確保に苦慮していることが分かったが、今後増加が見込まれる耕作放棄地をマッチングするなど坂祝町内の耕作地の効率的な有効活用を研究し実践されたい。



▲白田牧舎株式会社（乳牛牧舎）を視察

③-1 温度管理のために使用する燃料が高騰して経営を圧迫してきているとのことだが、物価上昇分を補てんする国・県の補助金を積極的に活用して支援につなげていただきたい。

③-2 現在は市場向けを中心に出荷してみえるが、個人からのニーズもあるとのことなので、今後は販路の拡大を期待するとともに、行政におかれては「さかほぎ産」を広く発信できるような支援をしていただきたい。



▲オグリ（花卉農園）を視察

調査事項② | 子育て支援拠点施設建設工事の進捗状況について

調査内容

子育て支援拠点施設建設工事現場を視察し、現地にてこども課長より工事の進捗状況について説明を受けた。

意見・要望

1. 建設中の子育て支援拠点施設の南側に設置されるキュービクルの位置について、完成後に利用者が圧迫感を感じるのではないかと懸念されるため、再度確認・検討されたい。
2. 増額補正の報告以外にも工事の進捗中に生じた変更等については、必要に応じて報告していただくことで議会との合意形成を図られたい。
3. 現時点では貸館は行わない方針だが、完成後には利用者や町民の声を聞いて、公共施設の有効利用について検討されたい。



▲子育て支援拠点施設工事現場を視察